

| | | | | | | | | |
|---|---|------|----------------|--|-------------------|----------|-----|----|
| 授業科目 | *臨床栄養学 | | | | 単位 | 2 | | |
| 履修 | 必修 | 関連資格 | 高一種免(看護) 養教一種免 | | ナンバリング | NU11103J | | |
| 開講年次 | 2 | 開講時期 | 後期 | 該当DP | DP1-2 DP2-1 DP3-2 | | | |
| 担当教員 | 彌永 清子 | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>人間にとって「食べる」ことはどのような意味を持つのか、人間栄養学を基本として、エネルギーと栄養素のはたらき、栄養と健康・疾病との関係を理解し、栄養や食物についての基礎的知識を得ると共に、社会と疾病構造の変化による健康・栄養問題について学ぶ。また、ライフステージと栄養・食生活について学ぶことにより、「食」を総合的に捉え、健康を維持・増進し、QOL(生活の質)の向上を目指した望ましい食生活のあり方に関する知識を修得する。さらに、臨床栄養とは、傷病者のさまざまな病態や栄養状態等に応じた総合的な栄養管理を行うことである。病院で実施される栄養管理は、チーム医療を基盤に行われるものであり、臨床栄養の基本を理解しておくことは必須である。</p> <p>本科目では、患者の生活を視野に置き、看護師として、患者の栄養や食事の問題を検討することのできる知識と技術を総合的に修得する。加えて、栄養補給法および病院における栄養管理の概要ならびに主な疾患の病態や栄養状態に基づいた栄養ケアについて解説し、臨床栄養管理の実際について理解することを目標とする。</p> <p>この授業は遠隔授業として実施する。</p> | | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養の意義および保健・医療における栄養の重要性を理解し、栄養における看護の役割を述べることができる。 2. 人間栄養学を基本として、栄養と健康・疾病との関係を説明することができる。 3. チーム医療を基盤として実施される傷病者の栄養管理における看護の役割を理解することができる。 4. 各疾患における栄養の意義と原則を説明することができる。 5. 患者の生活を視野に置き、看護師として、患者の栄養状態や食事の問題点を把握し、検討することができる。 | | | | | | | |
| 達成度評価 | | | | | | | | |
| 評価と評価割合／ 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 発表(口頭、プレゼンテーション) | レポート外の提出物 | その他 | 合計 | 備考 |
| 総合評価割合 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 | |
| 知識・理解 (DP1-1) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-2) | 50 | | | | | | 50 | |
| 知識・理解 (DP1-3) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-4) | | | | | | | | |
| 思考・判断 (DP2-1) | 30 | | | | | | 30 | |
| 思考・判断 (DP2-2) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-1) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-2) | 20 | | | | | | 20 | |
| 態度(DP4-1) | | | | | | | | |
| 態度(DP4-2) | | | | | | | | |
| 態度 (DP4-3) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-1) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-2) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-3) | | | | | | | | |
| 具体的な達成の目安 | | | | | | | | |
| 理想的レベル | | | | 標準的なレベル | | | | |
| 標準的なレベル 1～5 を達成したうえで、知識に関しては、より詳細かつ丁寧に説明できる。さらに、修得した知識を応用して、患者の栄養状態や食事の問題点を的確に把握し、栄養管理方法を提示できる。 | | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養の意義および保健・医療における栄養の重要性を理解し、栄養における看護の役割を述べるすることができる。 2. 人間栄養学を基本として、栄養と健康・疾病との関係を説明することができる。 | | | | |

| | | | 3. チーム医療を基盤として実施される傷病者の栄養管理における看護の役割を理解することができる。 4. 各疾患における栄養の意義と原則を説明することができる。 5. 患者の生活を視野に置き、看護師として、患者の栄養状態や食事の問題点を把握し、検討することができる。 | |
|------|---|---------|--|------------|
| 授業計画 | | | | |
| 進行 | テーマ・講義内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) | 予習・復習時間(分) |
| 1 | テーマ: 人間栄養学と看護 栄養の意義および保健・医療における栄養の重要性について解説する。 | 講義 | 予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 人間栄養学について整理し、理解する。 | 30 30 |
| 2 | テーマ: 栄養素の種類とはたらき 食物中に含まれ、生体にとって必要な栄養素について解説する。 | 講義 | 予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 栄養素の種類とはたらきについて整理し、理解する。 | 30 30 |
| 3 | テーマ: 食物の消化と栄養素の吸収・代謝 食物の消化・吸収・代謝について解説する。 | 講義 | 予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 食物の消化・吸収・代謝について整理し、理解する。 | 30 30 |
| 4 | テーマ: 食事と食品(日本人の食事摂取基準を含む) 日本人の食事摂取基準について解説する。 | 講義 | 予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 日本人の食事摂取基準について整理し、理解する。 | 30 30 |
| 5 | テーマ: 栄養状態の評価・判定 栄養状態の評価・判定の目的とその方法について解説する。 | 講義 | 予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 栄養状態の評価・判定について整理し、理解する。 | 30 30 |
| 6 | テーマ: ライフステージと栄養 1(乳幼児期・学童期・思春期・青年期) 乳幼児期・学童期・思春期・青年期の特徴と栄養ケア・マネジメントについて解説する。 | 講義 | 予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 乳幼児期・学童期・思春期・青年期の特徴と栄養ケア・マネジメントについて整理し、理解する。 | 30 30 |
| 7 | テーマ: ライフステージと栄養 2(成人期・妊娠期・授乳期・更年期・高齢期) 成人期・妊娠期・授乳期・更年期・高齢期の特徴と栄養ケア・マネジメントについて解説する。 | 講義 | 予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 妊娠期・授乳期・更年期・高齢期の特徴と栄養ケア・マネジメントについて整理し、理解する。 | 30 30 |
| 8 | テーマ: 栄養補給法、病院における栄養管理 栄養補給法、病院における栄養管理の概要について解説する。 | 講義 | 予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 栄養補給法について整理し、理解する。 | 30 30 |
| 9 | テーマ: 疾患別食事療法の実際 1 循環器疾患の病態と栄養ケアについて解説する。 | 講義 | 予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 循環器の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。 | 30 30 |
| 10 | テーマ: 疾患別食事療法の実際 2 消化器疾患の病態と栄養ケアについて解説する。 | 講義 | 予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 消化器疾患の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。 | 30 30 |

| | | | | |
|---------------|---|----|--|----------|
| 11 | テーマ:疾患別食事療法の実際 3 代謝性疾患の病態と栄養ケアについて解説する。 | 講義 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:代謝性疾患の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。 | 30 30 |
| 12 | テーマ:疾患別食事療法の実際 4 小児・高齢期疾患、術前・術後およびがんの栄養管理について解説する。 | 講義 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:小児疾患、高齢期疾患、術前・術後およびがんの病態と栄養ケアについて整理し、理解する。 | 30 30 |
| 13 | テーマ:疾患別食事療法の実際 5 腎臓疾患、血液疾患の病態と栄養ケアについて解説する。 | 講義 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:腎臓疾患、血液疾患の栄養ケアについて整理し、理解する。 | 30 30 |
| 14 | テーマ:まとめ 講義内容全体のまとめを行う。 | 講義 | 予習:講義全体を見直しをする。 復習:なし。 | 60 0 |
| 15 | | | | |
| 16 | | | | |
| 17 | | | | |
| 18 | | | | |
| 19 | | | | |
| 20 | | | | |
| 21 | | | | |
| 22 | | | | |
| 23 | | | | |
| 24 | | | | |
| 25 | | | | |
| 26 | | | | |
| 27 | | | | |
| 28 | | | | |
| 29 | | | | |
| 30 | | | | |
| 理解に必要な予備知識や技能 | 健康と栄養に関する知識を必要とする。 | | | |
| テキスト | 中村丁次著:系統看護学講座 専門基礎分野「栄養学」人体の構造と機能 3(医学書院) | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 必要に応じて、資料を配付する。 |
| 授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ | <p>患者の栄養管理はチーム医療のもとで実施されます。近年、栄養サポートチームなどの活動を通して栄養管理を行う中で、看護師の専門性を発揮することが求められています。本科目では、栄養の意義および保健・医療における栄養の重要性を理解し、看護師として、患者の生活を視野に置き、患者の栄養や食事の問題を検討することのできる知識と技術を総合的に修得します。加えて、栄養補給法および病院における栄養管理の概要ならびに主な疾患の病態や栄養状態に基づいた栄養ケアについて解説し、臨床栄養管理の実際について重点的に講義します。</p> <p>自身の食生活や栄養および健康について関心を持ち、これらに関する新聞記事や情報等を収集し、整理してください。</p> |
| 達成度評価に関するコメント | <p>成績評価として、試験を実施する。</p> <p>詳細については、授業の中で説明する。</p> |